

次期医療計画における 指標の見直しについて

第6次医療計画の指針「第3 構築の具体的な手順」について

第2回医療計画の見直し
等に関する検討会
平成28年6月15日
資料3
一部
改変

第6次指針

1 現状の把握

○ 患者動向、医療資源・医療連携等に関する現状を把握

2 圏域の設定

○ 二次医療圏を超えた患者受療動向等をもとに、疾病・事業ごとの圏域を設定

3 連携の検討

○ 医療機能を明確化した上で、関係機関の連携を検討し、医療機関等の名称を記載

4 課題の抽出

○ 指標例を参考に医療圏ごとの課題を抽出

5 数値目標

○ 各地域における医療提供体制の課題を解決するに当たっての数値目標を設定

6 施策

○ 数値目標の達成及び各医療機能がより発揮されるために行う施策を策定

7 評価

○ 評価を行う組織や時期を明記し、数値目標の達成状況、施策の進捗状況を評価

8 公表

○ 指標、課題、数値目標、施策、評価等について、ホームページ等で公表

「第3 構築の具体的な手順」とPDCAサイクルの関係性について

脳卒中の医療体制構築の場合(イメージ)

1 現状の把握

2 圏域の設定

3 連携の検討

4 課題の抽出

5 数値目標

6 施策

7 評価

8 公表

P

【指標による現状把握】

脳血管疾患の年齢調整死亡率(人口10万人当たり): 男性58.3、女性27.8

【課題の抽出】

脳血管疾患の年齢調整死亡率が全国よりも高い(全国: 男性49.5、女性26.9)

P

【数値目標(例)】

脳血管疾患の年齢調整死亡率(人口10万人当たり): 男性49.5、女性26.9

【施策に活用する指標(例)】

【課題抽出、目標設定、施策・事業の計画・実施】

(ストラクチャー指標(参考))

- 脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施可能な病院数: ★
- 脳外科手術が実施可能な医療機関数: ★

(プロセス指標)

- 脳梗塞に対するt-PAによる治療件数: ●→▲
- くも膜下出血に対する脳動脈瘤クリッピング術の手術件数: ●→▲

C

【評価】

数値目標の達成状況
施策の進捗状況の評価

A

【改善】

進捗状況に応じて
数値目標の再設定及び施策の見直し

PDCAサイクルを推進するための指標のあり方に関する論点

第2回医療計画の見直し 等に関する検討会	資料 3
平成28年6月15日	

○ 医療計画の実効性を高めるため、PDCAサイクルを推進する指標について、次のような観点から検討することとしてはどうか。

1. 都道府県の策定に関して、収集・活用がしやすいかどうか
2. 現状を評価できる指標が示されているかどうか、また、施策と連動する指標となっているかどうか
3. 評価指標に関して、医療機関単体ではなく、地域全体に重点を置いた評価ができるかどうか

第2回検討会における主なご意見

【3. PDCAサイクル推進のための指標について】

- PDCAサイクルがうまく回ったものを住民に公表することによって、医療計画の理解にも繋がると思う。
- 単に計画を作るというだけでなく、いかにそれを読んでもらえるようにするかというところも評価の一つの視点として欲しい。
- 使われていない指標を一律に有用ではないとするべきではなく、こういった指標を選択し活用するかを、研究者や地域の関係者などの意見も聞きながら検討するという方向性を出していくことが必要。
- 住民にとってわかりやすい指標になるよう工夫が必要。
- すべての都道府県が毎年評価することができるような視点は何か検討して、論点に入れて欲しい。
- 指標が本当に地域の人のためになって、地域の医療の質の向上に役立っているかどうかをチェックすることも重要ではないか。

PDCAサイクルを推進するための指標のあり方に係る見直しの方向性

現状・課題

見直し方向性(案)

1 現状の把握

- 必須指標、推奨指標、その他指標が明示されている
- 前計画の評価について記載がない

◎前計画の評価も含め、現状の把握を行う

2 圏域の設定

- 「目指すべき方向の事項を踏まえて課題を抽出」と記載
- 課題抽出にあたっての考え方についての記載が少なく、例示もない

◎課題抽出にあたっての具体的な考え方を示す

3 連携の検討

- 1年ごとに定量的な比較評価が行えるよう、数値目標を定める
- 施策の進捗状況の把握、評価についても1年ごとに実施、評価し、必要に応じて施策の見直しを図る
- 課題と数値目標のつながりが明らかでなく、また、定期的な事後評価が困難な指標が多い

◎課題に対応し、且つ事後評価が可能な数値目標について具体的な考え方を示す

4 課題の抽出

5 数値目標

- 施策の数値目標への寄与度、施策群全体としての効果という観点も踏まえ、施策の進捗管理・評価を行い、必要に応じて見直す
- 施策の達成状況の評価を踏まえたPDCAサイクルについて、具体的な記載がない
- 施策を進めるための事業計画(評価含む)についての記載がない

◎施策と数値目標の関係性を整理し、施策を進めるための事業について具体的な考え方を示す

6 施策

7 評価

8 公表

- 指標、課題、数値目標、施策、評価等についてホームページ等で公表
- それぞれがバラバラに整理されており、取組の成果等について、全体像が見えづらい

◎5疾病・5事業及び在宅医療ごとに課題解決へ向けた取組の成果等の見せ方を具体的に示す

(参考資料)

指標の改善に向けた取り組みについて(研究会)

第2回医療計画の見直し 等に関する検討会	資料 3
平成28年6月15日	

PDCAサイクルを通じた医療計画の実行性の向上のための研究会報告書

(一部抜粋。)

IV 今後国が検討すべき事項と方向性

i) 指標の整理

- ・ 同じ指標を一律に用いるのではなく、各都道府県や医療圏等の特性を把握し、地域の特性に応じた分類を行うとともに、それに応じた指標を設定することが重要である。
- ・ 現在、国から医療計画における指標例を示しているが、指標を達成する際の行動主体がわかりにくいため、行動主体(医療提供者、保険者、患者等)を明確に示すべきである。
- ・ 今回例示した指標のうち、活用意義が低いとされた指標については、その理由を検討し、例えば全ての都道府県が採用していないような指標については、指標から外すことも検討する必要がある。
- ・ 一方、必ず記載すべき内容、示すべき指標等については、その算出方法も含めて一覧にして都道府県に示すべきである。また、現在の指標例以外にも有効と考えられる指標や不足している指標がないかについても検討すべきである。

指標の改善に向けた取り組みについて(研究班)

第2回医療計画の見直し 等に関する検討会	資料 3
平成28年6月15日	

医療計画の評価と実効性の向上に関する研究 報告書より

(平成27年度厚生労働科学研究費補助金 地域医療基盤開発推進研究事業)

- (1) 医療計画を策定する上で有用とされた指標の抽出(次頁以降参照)
- (2) あまり使用されていない指標の抽出(次頁以降参照)
- (3) 指標についての都道府県の意見
 - ・ 指標が多すぎてどれを目標にすべきか迷った
 - ・ 指標の意味が十分に理解されていない
 - ・ 地域の実情を反映するものが必要
 - ・ アウトカム指標を追加してほしい
 - ・ 学会等のレジストリとリンクできると有り難い
- (4) 第7次医療計画の策定に向けての都道府県の意見
 - ・ もっと指標をシンプルに整理してほしい
 - ・ アウトカムとのつながり(指標の因果関係や関係性)を見えるようにしてほしい
 - ・ 策定するにあたり研修を開催してほしい

(参考)用語について

(H26地域医療構想策定及び医療計画PDCAサイクルの推進に資する都道府県の人材育成等手法に関する研究より抜粋)

✓ 構造—過程—結果:

米国ミシガン大学のアベディス・ドナベディアンが1980年に提唱した、医療の質をする際、その質を構成・定義する各要素を整理する手段として、医療界で広く受け入れられている考え方。

✓ 構造(ストラクチャー):

医療が提供された場の包括的な環境(人的、物的、財政的な資源や道具、専門職人材数、分布、施設数、規模、設備、地理的な性質だけでなく、生産要素を超え、財務、非公式な仕組み、医療保険までも含めた概念)

✓ 過程(プロセス):

医療者と患者の間で起こっている活動(誰がいつ、どのような医療を実施し、またどの程度の頻度で行われているか等、医療者と患者の間及び、彼ら自身の内部またはお互いの間で起こっている活動であり、その質は規範的な行動として定義される)

✓ 結果(アウトプット・アウトカム):

医療によって患者にもたらされた健康変化(治癒率や死亡率だけでなく、回復までに要する時間、合併症発生率等の身体的生理的面だけでなく、行動変容などの社会心理的な機能の改善も重要。「結果」は、規範的な診療行動として定義される「過程」と関連する。つまり、「過程」が改善されるとそれに伴って「結果」も改善されるということになる。)

✓ アウトプット:

生産されたサービスの量(単なる量であり、質は問わない。受診患者数や研修会の回数・参加人数などがこれにあたる)

✓ アウトカム:

本当の成果であり、質を伴う健康変化(受診したことによる患者の状態改善や、研修を受けたことによる住民の行動変容(健診受診率向上)などがこれにあたる。)

✓ SMART指標:

良い評価指標の特徴である、特異的(Specific)、測定可能(Measurable)、入手可能(Attainable)、現実的(Realistic)、期限あり(Time-bound)の頭文字。